

# 公民館図書室だより

開室日…月曜日～土曜日  
AM8:30～PM5:00  
閉室日…日曜日、祝日、  
年末年始、特別整理期間  
中央公民館(☎63・3811)

## 新着図書のご案内

### 一般書

- ☆モノクロの夏に帰る (額賀 滯)
- ☆修羅奔る夜 (伊東 潤)
- 作家刑事毒島の嘲笑 (中山 七里)
- とんこつQ&A (今村 夏子)
- こいごころ (畠中 恵)
- 紅だ! (桜庭 一樹)
- 嫌われ者の矜持 (新堂 冬樹)
- 小さき王たち (堂場 瞬一)
- アナベル・リイ (小池 真理子)

- 殺人者の白い檻 (長岡 弘樹)
- よって件のごとし (宮部 みゆき)

など、合計34冊!

### 児童書

- どうぶつのわかっていること  
・わかっていないこと  
(よしもり ひろすけ)

以上、合計1冊!

※新着図書は、一人2冊までの貸出となります

## 《おすすめ本》



### ☆モノクロの夏に帰る

(額賀 滯)

1枚の写真が世界を変えた。セクシャルマイノリティの書店員、保健室登校の女子中学生、家族にコンプレックスを持つテレビマン……。古い写真に秘められた記憶が解凍される時、若い彼らの心も動き始める。共感と感涙の物語。



出版：中央公論新社

### ☆修羅奔る夜

(伊東 潤)

東京で働く紗栄子に、青森でねぶた師として活動する兄・春馬が病に倒れたとの知らせが入る。帰郷した紗栄子は春馬を手伝う決意を固めるが、ねぶた祭りが迫る中、春馬は入院してしまい……。



出版：徳間書店

みなさんのお越しをお待ちしています!!

## 山百合短歌会詠草

黒テープぐるぐる巻きの銃だとは思えない悔やむ出来事

中 てるみ

新盆にいぼんの送り火燃える奥津城の空にくっきり上弦の月

庵戸眞知子

『濃厚』を濃いと厚いに分けてみる 私そうかな やはりそうかな

米倉眞佐美

五本指の靴下左のみ二つ畳んでありて苛立ちている

鍵本 和代

丈低く咲ける振花己が身を振り全視野見渡している

小山 和代

種播きて数多に植ゑし南瓜と肉と魚に乗り切る猛暑

仲田美智子

汗だくの日々にうんざりただ中に台風が来て鈴虫の鳴く

亀井てる代

汗流し枯れたトマトの紐ほどき一步前にと進めて行こう

曾根 邦子

ばあちゃんといよいよいよいよの墓参り汗ふきあおぐ青紅葉の空

山野 苺

華やかなドレス身に着けフラダンス日常離れ皆で楽しむ

坂本 清子

水を張るバケツにもがく大百足「蜘蛛の糸」なる温情もなし

宮武 厚子

## 人権講演会

「人権とは、どこか遠くの話ではなく、  
あなたの身近に、心の中に」

講師 いわさき 岩崎 じゅんこ 順子 氏

日時：令和4年11月11日(金)午後1時30分～

場所：日高町中央公民館2F大会議室

主催：日高町人権尊重推進委員会

※入場は無料です。

〈プロフィール〉

和歌山県海南市在住

著書「ガンが病気じゃなくなったとき」(青海社)

いのちの講演家として、「いのち・人権・心・子ども・親子・高齢者・生と死・グリーフケア・心の病気・災害・戦争」について、全国各地で講演されており、これまでの講演回数は1,100回を超える。

【お問い合わせ先】 住民生活課(☎63・3800)